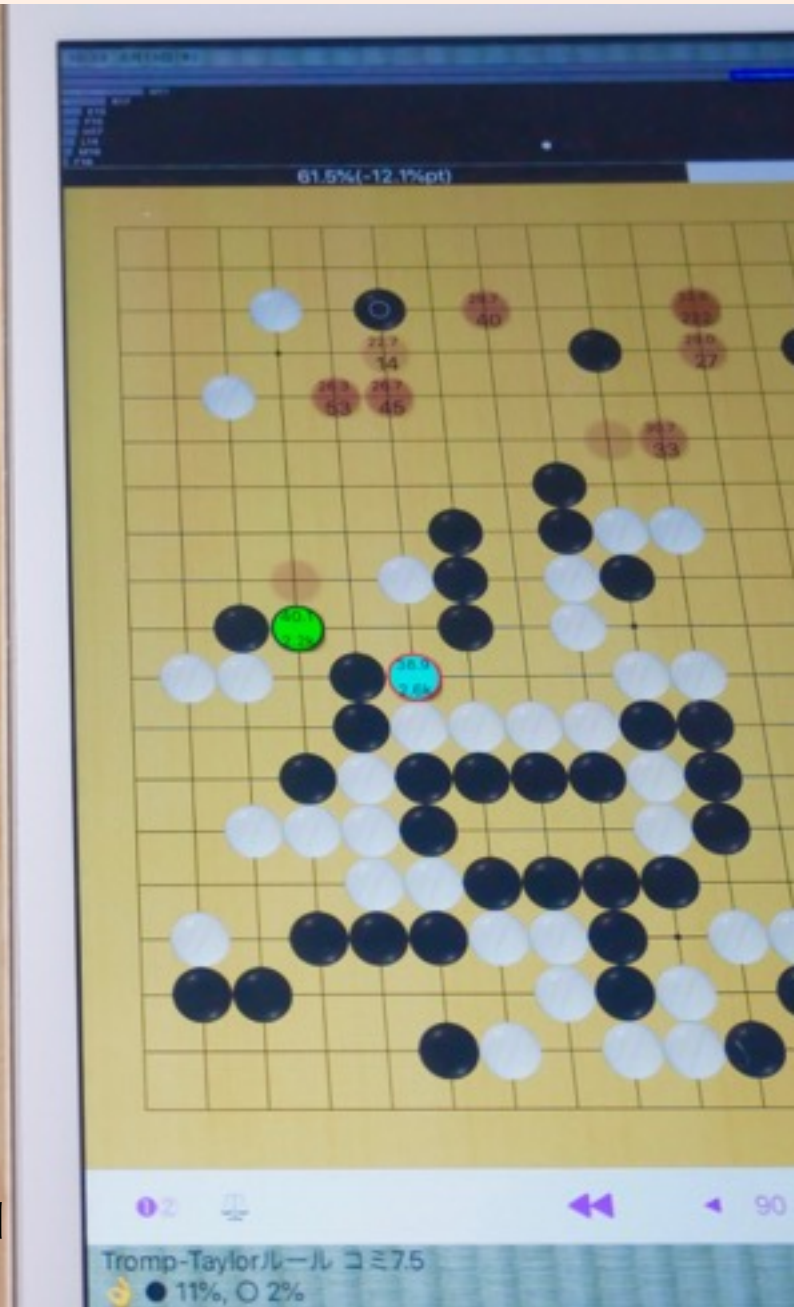


IGO通信 10月号



飽きない仕組みを考える

○ どうやって学んでいますか？

こんにちは。IGOホールディングスの井桁です。

今年もなんだかんだであと3ヶ月となりました。最近は外出する人も増えてきましたね。対面レッスンを止めていた生徒さんも少しずつ戻ってきています。

さて、みなさんは日頃、囲碁をどうやって学んでいますか？

近所の碁会所に通ったり、ネット碁をよく打ったり。

最近ではYouTubeの囲碁動画を見たり、AIソフトを使って研究している方も多いことでしょう。

僕が囲碁を始めてから一番やった勉強は、「棋譜並べ」でした。

プロ棋士が打った手を並べることで、自分にはない感覚に触れられるのがとても楽しかったんです。



ただそうやって伝えると、「棋譜並べってどういう効果があるんですか？」と質問されることがあります。棋譜を並べるって、他にはない言葉なので、あまりイメージしづらいのかもしれませんが。

なので今回の【IGO通信】では、囲碁の勉強法を紹介しようと思います。それぞれの効果や取り組み方を知り、今後の参考にしてもらえたらと思います。

○棋譜並べについて

僕は棋譜並べが好きです。時間を見つけては、並べたことがない棋譜を探して並べています。

棋譜並べの良い所は、強い人の感覚に触れられることです。自分ではまず思いつかない一手を知ることができるんです。

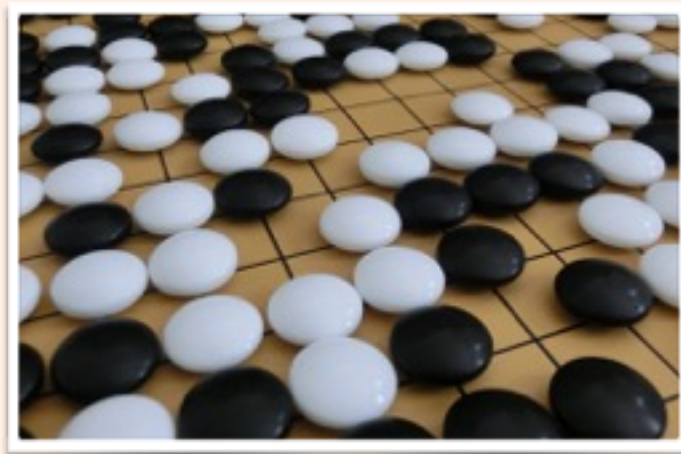
「こんな手があるのか！」と感動するような手があったら、そこだけ繰り返し並べて身体に覚えさせ、次の対局の時に真似してみる。そうしているうちに強くなれたと思います。

誰の棋譜を並べるかは、自分がなんとなく興味を持った人でいいです。今であれば井山裕太 棋聖、芝野虎丸 名人、注目の若手棋士・仲邑菫 初段でもいいでしょう。棋譜は囲碁雑誌や専門書に掲載されていますし、ネットでも検索できます。

棋譜は最後の手まで並べる必要はありません。勝負所が一段落する100～150手目くらいまででいいと思います。一手の意味を理解するのは大変なので、あくまで一局の流れを掴むくらいの気持ちでやれば十分です。

まとまった時間があれば、同じ対局を3回並べることをおすすめします。1回目は棋譜の数字を追うことで精一杯なので、繰り返していくうちに盤上を見る余裕が生まれます。

ちなみに僕が一番並べたのは、江戸時代の碁打ち・本因坊秀策の棋譜です。150年前に打たれていた対局を並べることによりロマンを感じながら並べていました。



○対局について

囲碁の楽しさを聞かれたら、「対局で勝つのが楽しい」と答える方は多いのではないのでしょうか。知恵を絞って打ち進めて勝てた時はとてもうれしいですね。

対局は楽しいだけでなく、学びにも大きく役立ちます。

相手がどう打ってくるか分からない中でアレコレ考えることで、もっとも大切な「先を読む力」を養えるんです。

また相手との駆け引きも踏まえた上で一手を選ぶことで、精神面を鍛えることもできるでしょう。



対局を上達につなげたいと思う方は、その対局を打つ前に「この一局は攻めを意識する」みたいにテーマを決めるといいと思います。自分の課題が分かっているならば、それを意識して臨みます。

そして対局後の振り返り（検討）をお忘れなく。

自分が決めたテーマを、どれだけ意識して打てたかを振り返ります。余裕があれば、他にはどこにチャンスがあったのかも振り返ることで、学びを大きくできます。

囲碁友と打つもよし。街の碁会所に行って打つもよし。大会で腕試ししてみるなど、色々な人と対局しましょう。

○詰碁について



「どうしたら強くなれますか？」と強い人に聞くと、「詰碁をやりましょう」と返ってきます。詰碁をたくさん解くことで、先を読む力を鍛えられ、それが役立っていると感じる人が多いのでしょうか。

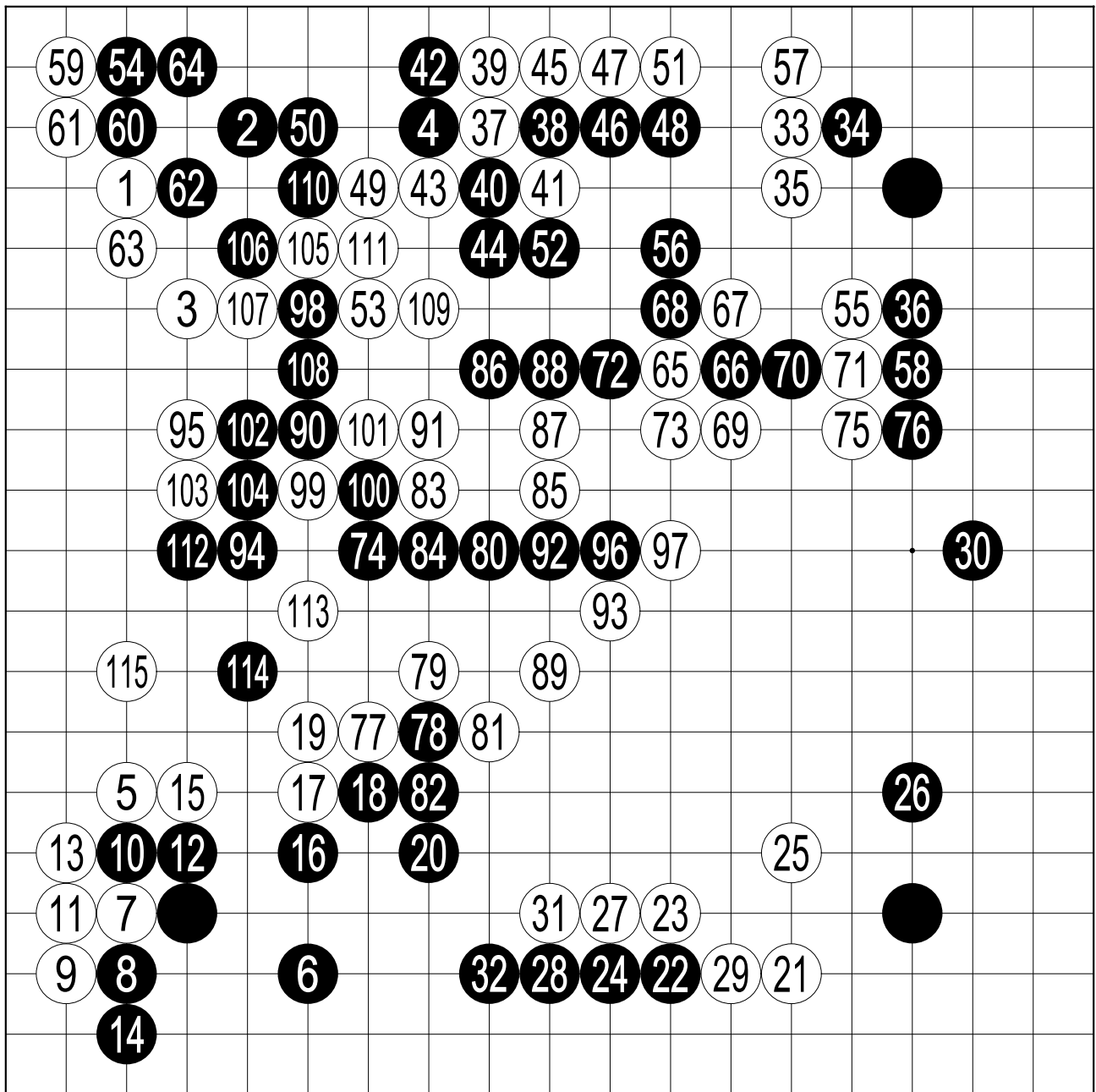
注意しておくことは、読みの力はすぐには身につかないということ。今の取り組みが3ヶ月後に力になるくらいの時間差があるんです。そのため詰碁に取り組むことにかんしては、「いかに長続きできるか」が大切です。

問題集はけっして背伸びせずに易しい本を選びましょう。何度も繰り返し解いて、まずは正解の1手目だけ覚えることを目指します。

その後も続けて、「この本はもう十分だ」と思えたら、今度は本を逆さにして読んでみます。同じ問題でも、向きが変われば違う問題に見えますし、すでに解いたものなので、気楽に取り組めるはずですよ。

「易しく・長く」をキーワードに取り組んでみてください。

○ 今月の対局 (1~115手目まで)



今月はプロ棋士の兆乾 二段に打ってもらった指導対局です。

白71に対して黒2子を逃げ出せば、上辺の白を不安定にさせられました。白に左辺に先行されると陣地が大きくなってしまう状況だったため、黒74と回れて良いと思っていましたが、少しずつ白もまわりからプレッシャーをかけてきます。

黒86では黒88地点の方がきれいに守れていました。そこで守り方を誤った結果、中央の黒が先に攻められて死んでしまいました。

○ 飽きない仕組みを考える

対局・詰碁・棋譜並べについて書きました。囲碁の勉強はどれもすぐには成果が表れません。日々コツコツ続けることで、ある日突然ステップアップできます。

また取り組めばそれだけ学びがあります。実感できていなかったとしても、何かを吸収しているはずですよ。

勉強を始めようと思ったら、まずは自分の課題を振り返ります。そして解決するには、何を学ぶ必要があるか考える。それと同時にどう勉強するかも考えてみてください。

大切なのは、飽きない仕組みを考えることです。

やる気が湧いた時に一気に取り組むのはいいとして、やる気が起きない時にどうするか。

量を減らしてでも、なるべく触れるように工夫しましょう。

今はできることがたくさんあります。

詰碁に飽きたら棋譜並べをやってみる。それにも飽きたらテレビの囲碁番組や、YouTubeの動画を探してみるのもいいでしょう。

囲碁以外でやってきたことの中で、自分に合ったスタイルがあれば、それを囲碁に当てはめてみたりとか。教室やレッスンに通って、刺激を定期的に取り入れるのも、モチベーションの管理に役立つと思います。

もしやり方が分からない時は、僕に連絡ください。せつかくやる気が湧いてきたなら、それをお手伝いできたらと思いますから。

○イベント案内

『上達の約束オンライン講座』

- ・毎週土日の夜に開催

「囲碁を学び直す」をテーマしたオンライン講座です。

2桁級向け、1桁級向け、有段者向けの、3つの棋力帯を対象にしています。それぞれのレベルで身につけておきたいことを取り上げていますので、気になるテーマがありましたら、ぜひご参加ください。

*詳細は
こちらから



Igocafe にわ大サロン (オンライン囲碁会)

- ・10月25日(日) 9時半～

2017年秋から月1で開催している囲碁会です。

基本的には9路・13路盤で対局を行っています。本来は国分寺の胡桃堂喫茶店にあるのですが、今はオンラインでの開催となっています。

*詳細は
こちらから



井桁クラス (初級者向けオンライン囲碁会)

- ・10月27日(火) 19時～

囲碁サロン天元さまと共催の囲碁会です。

囲碁を始めたばかりの方や、9路・13路盤ならば打てるという方同士で楽しんでいます。

皆さんとも初級者ですので、ルールは知っているけど相手が近くにいないという方はお気軽にどうぞ。

*詳細は
こちらから



○ブログ・SNSなど

各アカウントはこの名前で検索してください。

- ・ Twitter : @syudengahayai
- ・ Instagram : イゲタケンタ
- ・ note (個人ブログ) : いげたけんた

.....

○編集後記 ～第一歩のお手伝い～

今年は自宅で過ごす方が多いからか、初心者向けレッスンの申込みが多くありました。レッスンは回数制で行っており、みなさんとも19路盤で打てるようになることを目指して取り組んでいます。

同レッスンでは、この1ヶ月ほどで3名の方が最終回を行い、無事に最後まで打てるようになりました。

囲碁は19路盤で打てるようになるまでが少し大変なので、そこをサポートできることに、とてもやりがいを感じますね。

これからが囲碁がますます楽しくなる段階なので、ぜひ色々なコンテンツに触れていただけたらと思います。

今回も『IGO通信』を最後までお読みいただきありがとうございました。お伝えした勉強方法について、何か質問などありましたら、以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

発行人：井桁健太 (IGOホールディングス(株) 代表取締役)

お問い合わせは、kenta.igeta@igoholdings.jpまで